

KRC WEB REPORT

徒然想

能登半島地震から半年。しかし、復興までまだまだ時間がかかる状況とのこと。インフラ復旧だけでなく災害関連死や孤立を防ぐための対策も課題になっています。少しでも早く被災された方々の生活再建を願ってやみません。また、同時に半年を経て、能登半島はイメージしているよりもはるかに広いのだと思った次第です。恥ずかしながら広島に暮らす私には能登といえば金沢の印象が強く、雨の季節に良く似合う石畳などがまず映像として浮かんでいました。しかし、それ以上に能登半島の広大さと、多くの素晴らしい文化について少しでも知ることができたのは、皮肉にも震災がきっかけでした。いつの日か、素晴らしい能登半島をゆっくりと旅してみたいと思います。梅雨に入り、いまだに仮住まいを余儀なくされている方々が健康を崩されることの無いように心より祈っています。

TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

テーマ セルラーLPWA版IoTデバイスのご紹介

今月号では弊社が開発したセルラーLPWA版IoTデバイスをご紹介します。

本セルラーLPWA版IoTデバイスは、NTTdocomo社のネットワーク回線を利用してIoTデバイス本体から各種センサのデータを直接クラウドにアップロードできる装置です。クラウド上にアップロードされた各種データは、インターネット環境に接続されたPC、タブレット、スマートフォン等でデータの確認が可能です。

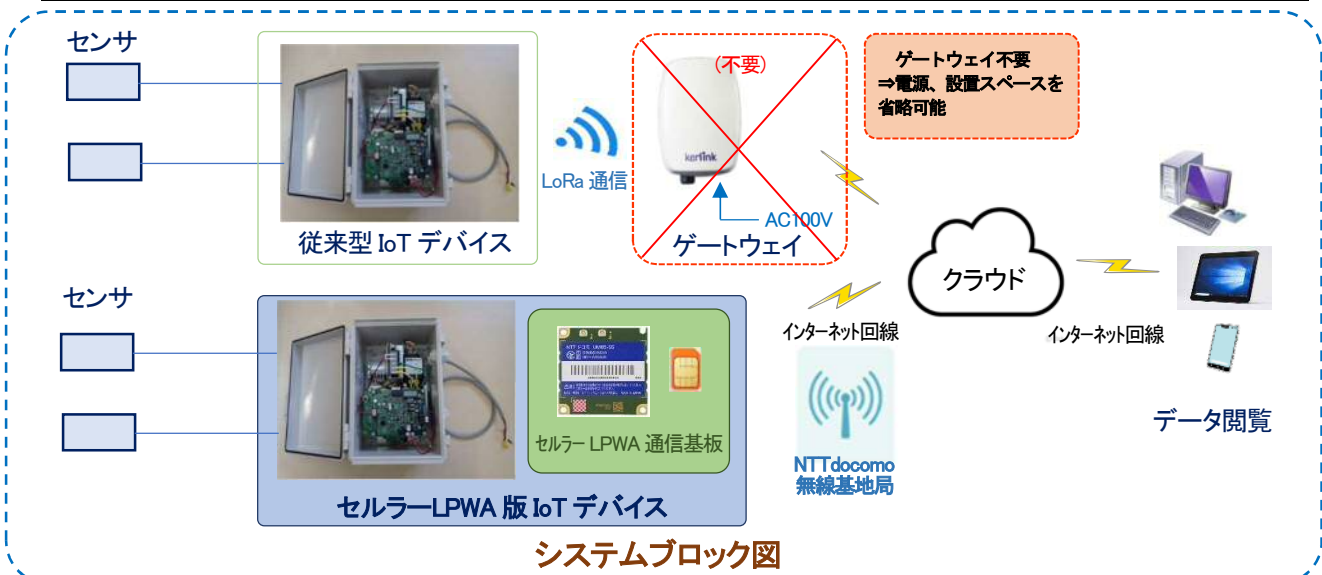
従来のIoTデバイスは、LoRaという通信手法によりクラウドにデータをアップロードするために、ゲートウェイ機器を必要としていました。(WEBレポートNo.240をご覧ください。)

セルラーLPWA版IoTデバイスは、ゲートウェイ機器を必要とせず、電源AC100V、ゲートウェイの設置スペースを省略することが可能となります。さらに、NTTdocomoの通信圏内であれば、IoTデバイスとゲートウェイ間の通信距離の制約を受けることなく設置可能となるため、測点が点在している場合などで有効です。

本セルラーLPWA版IoTデバイスのリリース予定は、本年秋ごろからを予定しております。

●セルラーLPWA版IoTデバイスの主な仕様

通信方式	セルラーLPWA(Cat.1 LTE)
計測ピッチ	10~90分
計測原理	アナログ(電圧)出力、ひずみゲージ変換器※、パルス出力※、熱電対※ ※要変換器
計測可能CH	2CH(+基板温度、バッテリー電圧)
通信距離	NTTdocomo社のLTE通信圏内



※SIMの通信回線契約・ランニングコストが別途必要となります。

※セルラーLPWA版IoTデバイスは、広島市産業振興センター 令和3年度「新成長ビジネス事業化支援事業」の助成を受けています。